



2016 October

No.530

地域がん診療連携拠点病院・基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院・地域医療支援病院・災害拠点病院・熊本DMAT指定病院・救急指定病院

理念 135年の歴史と設立の経緯を忘れず全人医療を提供します

基本方針

患者中心医療

患者の人権と意思を尊重します

患者診療3本柱

がん・救急・予防医療を中心に
医療機能の充実を図ります

完結型医療

地域の医療機関との連携を行い
安心できる医療の展開を行います

社会貢献

災害医療派遣・医療情報公開・医療
ボランティアの活動を行います

医療人育成

医療に携わる喜びが持てる医療人の
育成を行います

病院指標の公表について

病院指標とは、※DPC データを基に厚生労働省が定めた集計条件などに沿って資料を作成するもので、市民の皆さんに情報公開を進めることにより、自院の特徴や急性期医療の現状を理解していただくことを目的としています。また、公表することにより各病院の分析力と説明力の向上も目的としています。

(※DPCとは『診断群分類』の略称で、医師が決定した主病名に基づき、入院患者さんを病気と治療方法によって分類し、その分類ごとに国が定めた1日当りの入院費を包括支払いとして計算する制度で、当院は平成16年7月から適用されています)

集計条件は、平成27年度に当院を退院した患者さんのデータを集計の対象として作成しています。ただし、自動車賠償責任保険や労災保険、自費等の患者さんのデータ、および入院後24時間以内に死亡した患者さんのデー

タは集計対象外となります。

各指標について症例数を掲載していますが、個人情報が特定できないよう指標のなかで10症例未満の数値は「-」と表示しています。

公表対象施設はDPC対象病院(全国1,667施設)で平成28年10月1日にホームページで公表することとなっています。

具体的な公表内容は以下の通り7項目です。

- 1) 年齢階級別退院患者数
- 2) 診断群分類別患者数等(診療科別患者数上位3位まで)
- 3) 初発の5大癌のUICC病期分類別ならびに再発患者数
- 4) 成人市中肺炎の重症度別患者数等
- 5) 脳梗塞のICD10別患者数等
- 6) 診療科別主要手術別患者数等(診療科別患者数上位3位まで)
- 7) その他(DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率)

下表は2) 診断群分類別患者数等(診療科別患者数上位3位まで)の外科となります。

	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数(自院)	平均在院日数(全国)	転院率	平均年齢
1	050180xx97xx0x	静脈・リンパ管疾患 その他の手術あり 副傷病なし	44	3	3.59	0%	68
2	060335xx0200xx	胆嚢水腫、胆嚢炎等腹腔鏡下胆嚢摘出術等手術・処置等1なし 手術・処置等2なし	33	7	8.43	9%	61
3	060035xx0100xx	結腸(虫垂を含む。)の悪性腫瘍結腸切除術全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術等 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし	32	13	18.58	3%	69

表の名称等について説明します。

- ・DPC名称：どのような病気と治療方法で分類されているかを表します。
- ・平均在院日数(自院)：病院に入院していた日数(在院日数)の平均値です。
- ・平均在院日数(全国)：厚生労働省より公表されている平成27年度における全国のDPC対象病院の在院日数の平均値です。
- ・転院率：該当する患者数の内、当院から他の病院に転院された患者さんの割合です。

公表は上位3位となっているため、2) 診断群分類別患者数等、6) 診療科別主要手術別患者数等では当院の得意とする症例が掲載不可となっていますが、外科については「地域がん診療連

携拠点病院」として、胃がん等の消化器がんや乳がん等の手術も多くおこなっています。

今後の病院情報の公開については「医療の質」に関する指標も追加されていく予定で、DPCデータの分析力がより一層求められていくため、その分析力を活用し自院の医療の質向上等に寄与できるよう診療情報管理士として自己研鑽に努めてまいります。

このページのURL <http://hitoyoshi.jcho.go.jp/byouinshihyou27/> または、「人吉医療センター」➡「診療実績・臨床指標」➡「DPCデータによる病院指標平成27年度」でご検索下さい。

医事課 診療情報管理士 久保田 智子

看護連携取り組んでいます！～ストーマケア外来～

当院のストーマケア外来では、現在2名の皮膚・排泄ケア認定看護師（WOC ナース）が月3回ストーマに関する相談やご本人にあった管理方法などのアドバイスをを行っています。

今回、地域の訪問看護ステーションの方との連携をとることができました。連携しての感想を頂きましたので、掲載致します。

これから高齢者や独居世帯が増えていく中で、在宅で様々な福祉・医療サービスを受けられる方が多くなるかと思えます。何らかの処置を必要とする患者さんが退院後も在宅でその方らしく生活していけるよう、このような連携を取っていくことが大事だと思います。



当院には、そのような医療処置が必要な方の相談窓口としてストーマ外来をはじめ、様々な特殊外来を開

設していますので、お気軽にご相談ください。

お問い合わせ：WOC ナースまたは相談支援センター
(Tel：0966-22-2191/ 代表)

○ストーマケア外来に同行して

8月、当ステーションにストーマを造設されたご高齢の女性への退院後におけるストーマ管理での介入依頼があり、病院で受けられた指導を引き継ぎ、ケアを行っていました。

今回、ストーマの管理方法などの確認ため人吉医療センターでストーマ外来を受診されるということで、そこに同行させて頂く機会を得ました。そこでWOC ナースの方に正しいセルフケアの方法やパウチの種類も詳しく説明していただき、大変参考になりました。今後も相談にのっていただき、連携を取りながら利用者様の在宅生活を支援していきたいと思えます。

ニチイケアセンターにしき訪問看護ステーション 平橋 育子

骨髄バンクについてご存じですか。



骨髄バンクでは、患者さんに骨髄・末梢血幹細胞を提供してくれる方を募集し、ドナー登録者としてその情報を管理しています。

実際に年間1万人の方が白血病などの重い血液の病気と診断されています。医療が進歩した現在造血幹細胞移植が必要なケースも多く、ドナーになってくれる方がいないと成り立たない医療です。

平成28年8月の現在のドナー登録者は464,283人。患者登録者数は3,321人。一見、十分な登録が得られているかのように見えますが、実際に骨髄移植に至る件数は、月間100人前後となっています。なぜならば、HLA型が適

合したドナー候補者が見つかったとしても、ドナー候補者の健康状態、生活環境（妊娠・育児・休暇が困難）等のやむを得ない理由で辞退される方が多いからです。また、ドナー登録には年齢制限もあり、55歳になると自動的に登録が末梢されます。つまり自然減少を補う以上の登録者がいないと、登録はどんどん減っていくことになります。

10月は「臓器移植普及月間」です。いま私たちにできることは知ることです。この機会に骨髄バンクについて学んでみませんか。詳しくは、「造血幹細胞移植情報サービス」にアクセスしてみてください。

院内移植コーディネータ 杉松 紗織

フットケア外来活動開始！

糖尿病足病変は、潰瘍や壊疽により切断に至る場合もあり、QOLの低下に繋がる疾患です。

この度、糖尿病看護認定看護師・フットケア指導士として患者さんが高いQOLを維持できる地域づくりを目指し、糖尿病代謝内分泌内科・血管外科・循環器科・整形外科医師と協力し、2016年10月よりフットケア外来を開始いたしました。

フットケア外来は、毎月第二・第四月曜日に診療（要予約）をおこなっています。糖尿病足病変でお困りの方がおられましたら、是非ご連絡下さい。

【予約センター：22-1900 または 22-7878 まで】

なお、各看護外来の実施日は下記の通りです。

予約制となっておりますので、予約センターまでご連絡ください。

	月	火	水	木	金
第1週			リンパマッサージ	リンパマッサージ	ストーマケア
第2週	フットケア		リンパマッサージ	リンパマッサージ	
第3週			リンパマッサージ	リンパマッサージ	ストーマケア
第4週	フットケア		リンパマッサージ	リンパマッサージ	ストーマケア

接遇研修会2016報告

全職員対象の研修会として毎年接遇研修会が開催されますが、今年は外部講師ではなく総務企画課西山三智課長による研修会が開催されました。外部講師が行う形式（お辞儀や言葉使いなど）による接遇ではなく、相手の気持ちを思いやり相手が心地よい（快適な空間）を創り出しサービスを行うことが接遇であるとの話から始まりました。

相手の気持ちを汲み取ることは非常に難しいことだと思います。

相手を思いやることのできるためには私達自身ももっと経験を積み、いろいろな立場に自分を置いて考えることが必要だと感じました。意見箱にある事例を紹介され、どのようなことを相手が求めているのかを知ることが大切なことだと思いました。最後に顔の筋肉のストレッチ方法を紹介され、より優しい表情、明るい表情をつくるコツを教えてくださいました。

薬剤科 福島 ゆかり

学会参加報告

日本マネジメント学会 第15回九州・山口連合大会

平成28年9月16・17日に日本マネジメント学会第15回九州・山口連合大会が佐賀市文化会館で開催されました。「医療の質をマネージする」をメインテーマに一般演題161題・クリティカルパス展示26題の発表が行われました。

当院からは一般演題の部に2題、クリティカルパス展示の部に3題参加させて頂きました。

当院でも導入しているパートナーシップ・ナーシング・システム（PNS）に対する演題が看護業務部門で多く発表されました。

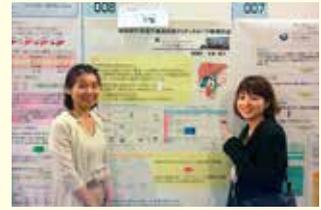
PNS導入後はケアの向上・学びの共有が図れる利点がありました。逆にコミュニケーションエラーによる問題もあることを、発表からも知ることが出来ました。

ランチョンセミナーでは、元吉本興業に所属し現在放送作家であり日本初の漫才セミナー講師 Wマコトのお二人から、「最強の医療コミュニケーション術」なんてや

ねん力」というテーマで講演がありました。

私は、初めてWマコトさんの講演を聴きましたが、一流芸人は笑いのプロであり、コミュニケーションのプロである。そのため、実際に多くの一流芸人の仕事や態度・話し方から笑い1つで相手との距離が縮まり、相槌・共感・擬音語などの技法が使われていることに気づくことができました。人々はその親しみやすさを感じ、その思いが徐々に信頼関係の構築に繋がっていくことを改めて学ぶ事ができました。今回、学会に参加させて頂き学んだ「医療現場ではそれぞれの専門職のプロだけではなく、コミュニケーションのプロとしても輝くための笑利の方程式」を胸に、スタッフ間でのコミュニケーションも大切に、日々精進していきたいと思えます。

9階病棟 平野 美穂



行ってよかった！ JCHO 地域医療総合医学会

第2回JCHO医学会に参加してきました。この学会に参加できて良かったと思えたのは学会1日目の特別講演にiPS細胞で有名な山中伸弥先生のお話が聞けた事でした。滅多に生で見るのできない方の顔をこの目に焼き付けながらも持っていた携帯で勝手にパチリ。「この学会で山中先生の貴重なお話が聞けるのは2人の一番大切な女性を人質に取ったからだ」と紹介される尾身理事長の過激な発言にも、「私にとって一番大切な女性は妻であって、母と娘は2番目か3番目。人質ではなく、お世話になった」とユーモアを交えながらの返答に笑いの渦が巻き起こり、それ以後1時間に渡る講演があつという間に感じるほどの面白さでした。その中でも大切なキーワードが「VW」。車のフォルクスワーゲンではなく、ビ

ジョンと（ハード）ワーク。どんなに一生懸命に働いてもビジョンがなければうまくいかない。なるほど！何事も将来のビジョンが大切だと思いました。

話は変わりますが、災害セッション座長であった当院副院長の下川先生曰く災害の定義とは「需要に対して供給が足りてない事」とのことでしたが、その後の懇親会では食料難という災害に巻き込まれこの場では生き残れないと感じ、早々に会場を抜け他のお店に救助されに行き（災害が起きている場所から遠隔地への避難搬送）、おいしいお肉とワインをいただきました。また演題発表と講演が行けることを楽しみに、日々研鑽して参ります。

臨床検査部 浜津 育宏



講演：山中教授

熊本地震「勤務先変更」

～熊本市民病院からまいりました～

9月1日より熊本市民病院から助産師1名・看護師3名が派遣研修でお世話になっております。

私たちの働いていた熊本市民病院は4月16日の地震で通常の業務を行うことができなくなりました。最初の地震があった4月14日、被害のひどかった益城や近隣病院からの搬送を受け入れました。しかし、数時間後の4月16日未明、本震と言われたあの地震がおきました。前日と違い、支えがなければ立っていることもできないくらいの長い揺れと地鳴りに慌てて家を飛び出し病院へ行きました。その後も大きな余震は続き、患者を他院へ搬送する準備に追われていると「市民病院倒壊の危険性あり」との声が聞こえてきました。「ここで死ぬのかな…」あの日病院にいたすべての人がそう思っていたと思います。皆で「自分に何があっても家族に連絡してもらえるよう

に」と宛に連絡先の電話番号等を書き込み、情報が錯綜するなか必死で業務にあたりました。

あの日から私たちの生活は大きく変わりました。本庁復興部での罹災業務や、避難所の運営や夜勤業務。地域での医療活動など、気づけば地震から5ヶ月が過ぎようとしていた頃、私たち4名は人吉医療センターにお世話になることが決まりました。自分の住み慣れた家から新たに転居することはとても不安でした。しかし、病院見学会の時にかけてくださった言葉に本当に救われ、頑張ってみよう決めました。まだはっきりとした派遣期間は不明ですが、一生懸命がんばりますのでよろしくお願ひします。

7階病棟 松本 加奈子



市民病院より麻酔科 城Dr、看護師

研修医挨拶



2016年7月、徳島で行われた外科学会での発表を前に神戸に立ち寄りました。昨年度までの当院の研修医で、関西弁を操り、斜に構え、他の研修医の目標であったH川氏に会うためです。H川氏は現在、神戸大学病院の消化器外科に所属し、休み無しで奮闘しているようでした。頤と眼瞼裂は更に鋭くなり、気づかずに通り過ぎてしまうところでした。その夜、ステーキランドでご馳走になりながら、僕らは多くを語りました。大抵は

思い出話です。通り過ぎていくばかりの話です。けれど、実感の籠った話もありました。自分達の医師としての指標についてです。H川氏にとってはK下先生が外科医としての目印だそうです。僕もここでシンプルに真摯に、そして間違に仕事をする先生に出会いました。そういう人が僕の医師としての目標です。さようならを言う事は少しだけ死ぬ事、だそうです。とにかく、ここから始めました。人吉医療センター、ありがとうございます。

熊本大学医学部附属病院 臨床研修医 柴田 悠人



こんにちは。木村俊貴です。早いもので、私がこの人吉医療センターに来てから1年という月日が経ち、いよいよ去る日がやってきました。思えば様々な思い出があり、この一年を振り返ってみました。

去年の10月に人吉医療センターに来て、最初に回ったのは麻酔科でした。初めて挿管を行ったとき、こんなに細い管が一人の命を支えていることと不安感とともに医師としての責任感を実感したのを覚えています。次に回った整形外科では、苦手意識のあった手術を楽しいと思えるようになりました。循環器内科では幾つもの命を救う現場を目の当たりにし、外科でも緊急手術を多く経験し、患者さんを助けるやりがいを感じました。消化器内科は2カ月間研修し、内視鏡をたくさんさせて頂いたり、積極的に治療法を考えさせてもらったりと、医師としての自信がつかまりました。産婦人科は苦手分野でしたが、だからこそ積極的に学ばせて頂きました。お産にも立ち合わせて頂き、自分の子供も早くほしいと一瞬思いました(笑)。呼吸器内科では重症の患者さんを担当することが多く、治すことだけが医療ではないということに気づかされました。脳神経外科で退院し

ていく患者さんたちの感謝の言葉を聞くたびに、この仕事を選べよかったですと痛感しました。仕事以外でも、職員旅行やバーベキュー、ラフティング、飲み会には何度いったか数えられません。本当に楽しかったです。木村院長をはじめ上級医の先生方や先輩方には、時に厳しく、時にやさしく指導していただきました。先生方の言葉を胸に、これからの診療に活かしていきたいと思えます。医師以外のスタッフの方々にも本当に優しくしていただきました。こんな自分と仲良くしてくれてほんとにありがとうございます。人吉の町並みも、人吉の自然も、人吉の人々もみんな大好きです！まだまだ感謝の言葉はいいたりませんが、あまり長いと読む方も疲れると思うのでこれくらいにしておきます。本当にいままでありがとうございます。また会いましょう。



熊本大学医学部附属病院 臨床研修医 木村 俊貴



研修医2年目の佐藤寛紀です。4月1日から9月30日までの半年間で小児科、産婦人科、整形外科、循環器内科、総合診療科と五つの診療科で研修させて頂きました。今回、済生会病院の地域研修コースという名目ではありましたが、人吉・球磨地域の基幹病院として、救急から終末期までの全人医療を実践する中で、済生会病院では学べなかった多くの事を学ぶ事が出来ました。特に小児科研修の中で訪問診療に同行させて頂

いた際には、これまで目にしてきた患者-医療者の関係以上の密接な信頼関係を築いている医療に接することが出来ました。また、大き過ぎない病院の利点と言いましょか、患者さんだけではなく、医療者同士も近い距離感の中にあり、先生方やコメディカルの方にも多くの事を教えて頂きました。半年という短い期間ではありましたが、大変お世話になりました。ありがとうございました。

済生会熊本病院 臨床研修医 佐藤 寛紀

人吉・球磨の在宅医療の現状

人吉・球磨在宅ドクターネットの世話役をしている岩井と申します。人吉球磨の現状について報告いたします。一つの大きな動きとして、在宅医療・介護連携推進事業が自治体の責任のもと始まりました。自治体が医師会に事業を委任する項目の一つ、医療・介護関係者の情報共有の支援事業で、ICTで連携をスムーズにしようと具体的な動きが現在進行中です。

人吉・球磨在宅ドクターネットは10月で結成二周年を迎えます。この二年間にグループ全体での看取りの事例数は約150例です。この内患者宅での看取りは50例ぐらいです。あとは老人ホームなど介護施設での看取りです。ICTによる情報共有が始まればもっと看取りが増えるかもしれません。10月24日には4回目の事例報告会を行い、5名の方に報告して頂き、色々話し合いました。

今回、在宅療養後方支援制度が人吉医療センターで始められます。在宅療養をされている患者さんの緊急時に迅速に対応し

登録医リレーエッセイ Vol.25

ていただくという制度で事前の登録をしていれば24時間体制で行うということですので大変助かります。早速患者さんに説明しましたら是非登録してほしいとの意向でした。ありがたいことです。そのようにいろいろな方に助けていただきながら、訪問看護ステーションを中心に医療介護の多職種で、時には近所の方の協力も頂きながら利用者の方が住み慣れた自宅で安心して暮らせるようにそして安らかな最後を迎えられるよう今後も積極的に活動していくつもりです。皆さんも在宅で療養を希望されている方でどうしていいかわからない方がおられたら我々に連絡をください。病院でしたら医療ソーシャルワーカーの方にご一報お願いします。



医療法人弘顯会 岩井クリニック
院長 岩井 顯

チームで支えるがん治療 vol.3 ～医療費負担を軽減するための制度案内～

自己負担額の世帯合算

自己負担額は世帯で合算することができ、その合算した額が自己負担限度額を超えた場合は、超えた額が払い戻されます。

<合算できる医療費>

- *世帯で複数の方が同じ月に病気やけがをして医療機関で受診した場合
- *お一人が同じ月に複数の医療機関で受診したり、一つの医療機関で入院と外来で受診した場合
- ※ここで言う世帯とは、同一の保険に加入している被保険者とその被扶養者です。

ただし、70歳未満の方の合算できる自己負担額は、21,000円以上のものに限られます。70歳以上の方は自己負担額をすべて合算できます。

合算対象のポイント

70歳未満の方の場合は、受診者別に次の基準によりそれ

医療費がある一定以上高額になった時に払い戻しができることや、事前に申請をすることで窓口負担額を軽減する限度額適用認定についてはご存知の方も多いと思いますので、ここでは複数の医療費の支払いが生じた時の医療費の合算について説明をさせていただきます。

ぞれ算出された自己負担額（1ヵ月）が21,000円以上のものを合算することができます。

自己負担額の基準

- *医療機関ごとに計算します。同じ医療機関であっても、医科入院、医科外来、歯科入院、歯科外来にわけて計算します。
- *医療機関から交付された処方せんにより調剤薬局で調剤を受けた場合は、薬局で支払った自己負担額を処方せんを交付した医療機関に含めて計算します。

※全国健康保険協会HPより一部抜粋

この医療費の合算の手続きは、保険者によって手続き方法が異なっていたり、後期高齢者と前期高齢者の合算方法も異なりますので詳しくは加入されている保険者にご確認ください。

相談支援センター

清流ハートクラブ ～救急蘇生研修～ 開催

心臓リハビリ室では毎月テーマを決め様々な分野のスタッフが講師となり、患者教育の一環として清流ハートクラブ（患者会）を開催しています。

9月は中矢野N s から突然死や救急対応についての話とBLS講習を行いました。

突然死の原因となる病気の中で循環器疾患が70%と一番多くいつでも誰にでも起こる病気であることを再認識することが出来ました。

その後心肺蘇生法とAED、あっぱくん（どれほどの深さとテンポで心臓マッサージを行えばよいかチェックできる機械）を使用し参加された皆様に実践して頂きました。

今回参加された皆様にアンケートを記入していただきましたので感想などを掲載させていただきます。

一どのような内容が一番印象に残りましたか。また分らなかった内容があればご記入下さい。

- ・AEDを使う際に心臓マッサージをしたけれど、結構力があるなと思った。女性では長く続けることは難しいと感じた。
- ・実際に胸骨圧迫の実習ができ、またAEDの使い方も見ることができよかった。

- ・実際に遭遇したときには近隣の人にいち早く伝える、救急車を手配する、誰かAEDを使えないかなどの確認をし、一刻もすばやく対応できるようにする。

一本日の感想をお聞かせ下さい。

- ・助ける人が健康でなければ、もしも心疾患の人が出会った場合はとても処置が出来ないと思う。
- ・AEDの使用について練習は初めてなので大変になりました。
- ・実際に遭遇したとき自信がない。

出席された皆様アンケートへの御協力ありがとうございました。



部署紹介「受付」

病院の受付業務は、私たちニチイの研修を受けたスタッフが担当しています。

1階受付は、主に受診される皆様やお見舞いの方の対応など、最初に対応させて頂く病院の顔としての役割があります。朝、始業の前にお互いの表情のチェックを行い、気持ちの良い対応を行うよう心掛けています。

2階受付は、「気持ちの良い丁寧な対応」「待ち時間の短縮」を目標に、総合受付として処方、会計、入院案内などの業務を行っております。

何か、わからないことがあれば、おきがるにこえをかけてください。お気付きの点等ございましたら、お申し出ください。



人吉医療センター災害実動訓練・病院フェスティバルのお知らせ

平成28年11月6日(日)人吉市総合防災訓練と連携し、人吉医療センター災害実動訓練を行います。当日は地域の行政機関や医療機関をはじめ、人吉医療センター地域協力会、アマチュア無線クラブの皆様にもご協力頂きます。当院は人吉球磨地域の災害拠点病院に指定されており、災害時の医療拠点となるべく、研鑽して参ります。当日は騒音及び正面玄関、本館棟1階を主に使用するため、入院中及び来院の皆様にご迷惑をおかけ致しますが、ご理解ご協力の程よろしくお願い致します。

また、訓練後には当院敷地内において病院フェスティバルを開催致します。どうぞ皆さままでおいで下さい！

人吉医療センター フェスティバル Vol.9 **入場無料**

日時: 11月6日(日) 11時~15時 場所: 人吉医療センター内

■市民公開講座 (共催: 人吉球磨薬剤師会)

「災害時に市民によりそい支援する薬剤師」~熊本地震に対する薬剤師の活動~

■HMC緩和・在宅医療センター ミニ講演

「あなたの家にかえろう」~事例からみる在宅医療~

■JMS・ジャパン・マンモグラフィ・サンデー「日曜日に乳がん検査を」

■多種体験・相談ブース

電気メス、手術室手洗、調剤、高気圧酸素治療、転倒骨折予防、唾液のアミラーゼ測定
血管年齢・骨密度測定・自分の肝臓(脂肪観察)、妊婦体験ジャケット着用、乳がんモデルネイルケア、乳がん予防体験、Dr.医療相談コーナー、アロマ、カラーペインティング、陶芸体験 ほか

■こども・おとなメッセージぬりえ展示 ■リサイクルワゴンsale

■人吉高校吹奏楽部演奏 ■ReaLiZe/人吉よさこい銀翔会 パフォーマンス

■ヨガと一緒に ■各種販売(協力: 地域協力会・どきやんか先番隊・開)

■クイズラリー(綿菓子プレゼント) ■抽選会 ほか



新 任 紹 介



もりい ゆきお
師井 裕記朗 (小児科・医師)

最終卒業校: 川崎医科大学

趣味: スポーツ観戦(野球、サッカー等)

好きな言葉: Change your words, change your world.

自分の性格: めげない!! (良くも悪くも...)

自分のコマーシャル: 明るく、楽しく、元気よく、一生懸命

頑張ります



ふくしま めぐみ (5階西・看護師)

最終卒業校: 日本赤十字九州国際看護大学

趣味: 旅行

モットー: 元気

自分の性格: 人見知り

自分のコマーシャル: 笑顔で頑張ります。よろしくお願ひ

します。



さこだ ゆかり
迫田 由香理 (薬剤部・クラーク)

最終卒業校: 熊本県立人吉高等学校

生活信条: 笑顔

自分の性格: マイペース

自分のコマーシャル: 一生懸命頑張ります、よろしくお願ひ

します。

10月の勉強会報告

平成28年10月13日(木)第83回人吉乳腺カンファレンス

「乳腺の放射線治療」

人吉医療センター 前田 竜一郎 診療放射線技師

「両側男性乳癌の一例」

人吉医療センター 臨床研修医 佐野 あゆみ先生

10月のフレッシュマンセミナー報告

10/6 小崎 麗子 「性教育について」

10/13 郡 桃伽 「藤崎八幡 秋季例大祭について」

10/27 川辺 舞 「世界のハロウィンについて」

